

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表) %

公表： 令和3年12月28日

事業所名： 発達サポートbeing

保護者等数 11

回収数 10

回収率 90.9 %

		質問項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている。	90			10		
	2	専門性の高い職員が働いている。	60	10		30		
	3	職員の配置数は適切である。	60			40	定員数など把握していないのでわからない。	規定に準じている。しかも規定を超えて配置している。
	4	事業所の設備等は、子どもが使いやすいように設計されている。	90			10		
	5	屋内外の環境は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。	100					
	6	屋内外の環境は、子ども達の興味や活動をそるように整備されている。	100					
適切な支援の提供	7	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別の支援計画が作成されている。	80			20		療育指導部長は特別支援教育の専門家を配置して、児発管と共に支援計画を立てている。
	8	個別の支援計画に基づいて支援が行われている。	80			20		標準化されたアセスメントツールやチェック表等用いて適切にアセスメントが行われるように留意している。
	9	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている。	70			30		
	10	障がいのない子どもと一緒に活動・交流する機会を事業所は提供している。	60			40		通所している子どもは、それぞれ保育園等に通っているため必要ない。
保護者への説明等	11	契約や担当者会議の折に、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明がなされた。	100					
	12	日頃から、事業所は子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を深めている。	90	10			活動内容の報告はあるが、直接話をする機会が少ない。	いつでも来所頂き、お話を伺うことができるようにしている。
	13	保護者に対して個別相談や面談、育児に関する助言等の支援が行われている。	90	10			個別相談や面談の時間を増やしてほしい。もう少し助言をもらいたい。	気軽にお願いできるように保護者の皆様に周知する。
	14	保護者同士が同席する機会もあり、保護者同士の連携が支援されている。	80	20				土曜日を交流の時間としている。平日は難しい。

		質問項目	はい	どちらともいえない	わからない	ご意見	
	15	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	80		20		
	16	事業所は、子どもや保護者が気持ちや情報を職員に伝えやすい雰囲気を作っている。	90	10			
	17	活動の予定や概要、報告等が子どもや保護者に対して発信されている。	90	10		土曜日の予定が何をするのかよくわからない。	自由あそびの療育的意義やスタッフの意図的関りについて理解を得られるように説明をする。
	18	個人情報の取り扱いに十分注意されている。	90		10		
非常時等の対応	19	緊急時対応、防犯、感染症対応について、契約時の”重要事項説明書”やマニュアル等を活用して説明を受けている。	100				年度内に実施の予定である。防災訓練の前に防災教室を実施する。
	20	非常災害を想定して定期的に避難、救助、その他の訓練をしている。	60		40		
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしている。	90		10	(行くときだけいやがる)	
	22	(保護者は) 事業所の支援に満足している。	90	10			
